

2025 年度第 2 回一宮市立図書館協議会会議録（要旨）

1 開催日時 2026 年 2 月 18 日（水）午後 2 時～3 時 22 分

2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1

3 出席者 委員 10 名 事務局 8 名

4 傍聴者 なし

5 議 題

(1) 市立図書館の利用状況について

(2) 利用者意見の調査結果について

(3) その他

6 開 会 （事務局が開会を宣言）

活力創造部次長挨拶

会長挨拶

7 会 議（要旨）

（議 長）議題（1）市立図書館の利用状況について説明をお願いします。

（事務局）市立図書館の利用状況について資料に基づき説明。

（委 員）資料の細かい表だけだと数字を追うと分かるところもあるが、横ばいとか、増えているとか、そういった感覚はやはりグラフになっているほうが見やすいので、ざっくりと流れが見えるようなものがあるとよい。

（委 員）登録者数の推移表で、令和 3 年まではまあまあの数字だった。先ほどの説明で、毎年 12 月に 5 年間貸出利用がない方は削除するというのがあったが、令和 4 年に急激に減ったというのはいかなる理由があるのか。

（事務局）毎年、5 年間利用がない方については削除をしているが、学校との共通貸出カードについての処理が漏れていたことに気づき、本来削除しなくてはいけなかった分を改めて削除をしたため、令和 4 年に極端に数字が減ったということになった。

（議 長）議題（2）の利用者意見の調査結果について説明をお願いします。

（事務局）利用者アンケート結果に基づき、中央図書館→ほたる号→尾西図書館→玉堂記念木曾川図書館→子ども文化広場図書館の順に説明。

（委 員）今回、ほたる号のアンケートもやっていただきありがとうございます。公平にいくのであれば地文もやっていいのではと思ったが、地文はこの日に来館者がいたのか、それともアンケートはそもそも取る予定がなかったのか。

（事務局）今回、地文は予定がなく、アンケートを増やすのをほたる号の利用者だけということとさせていただいた。地文の利用者の意見も聞いてみたいと思いますので、また検討したいと思う。

（委 員）ありがとうございます。ぜひ小さくても頑張っておられるのでと思いました。

あともう一つ、例えば返却がほかでもできるといいみたいな意見があり、浅井の人は出張所では土日が回収してもらえないという意見があった。図書館なら 24 時間返却できるか。出張所だから土日やってないとか時間過ぎたらやってないということか。

（事務局）出張所の場合は出張所がやっている時間しか入れないところにポストがあるので、開庁時間内しか利用できませんと案内している。図書館は 24 時間返却できる。

（委 員）皆さんの意見を聞いていたら切りがないが、出張所は公民館として利用する方が多いから、そちらのほうが馴染みがあって返しに来やすいと思ったので、せっかくそういったサービスもあるから、もっと PR するのいいというのと、先ほど LINE のお話があったが、今この図書館でこんなコーナーやってるよ、みたいな宣伝でそのコーナーの写真を載せる、そういう LINE の機能がもしあったら、今度行ってみようとなるし、やはりこちら側が探しに行かないといけない情報、もちろん探しには行くが、そうやって入ってくる情報というのはありがたくて、興味がなければ別にそれでいいし、そういうふうに PR するのはどうかと思う。

（委 員）アンケートで図書館のサービスについての満足度というところに「本や調べ物の相談のしやすさ」とか、「職員の資料に対する知識」の結果が、各館とも総じて「満

足」「普通」というのを合わせたのと同じぐらいかそれ以上に「分からない」となっている。それは、図書館は本を借りる場所、勉強する場所とかいろんな役割があるが、相談をしたことがあるかというそもそもの、レファレンスのサービスがあるということと、それを使おうと思っている人が多分少ないのかなと思う。

ほかからの情報で得たものを一つだけお伝えすると、東京の図書館でやっているのですが、赤ちゃんに図書館から絵本を3冊ずつお届けするサービスがあるそうです。ブックスタートの時に案内があり、1歳まではなかなか図書館に来ることができないので、希望される方には図書館が選んだ絵本をお届けしますよというシステムで、お母さんが相談するというのがなかなかできないけど、レファレンスに変わるような感じで、こちらがそれを主導して、こういう頃にはこんな絵本がいいですよと示してくださるのもいいなと思ったので、この調べ物の相談のしやすさとか知識とかをもっと「満足」や「普通」に、「分からない」より上げていくのであれば、そこを何とか、少し考えたらいいのかなと思う。

(議長) いろんな地域のやり方があるし、予算の関係もあるから難しい部分もあるので、同じようにはいかないけど、そういう方法もあるというご提案だと思う。今の、なかなか子育て中は外に出られないというお話で、今回初めてこの移動図書館のアンケート資料を見て、なかなか出られないけどすぐ近所に来るから、お散歩の感じで出かけられるからすごくいいとか、高齢者の方も車がなかなか乗れなくなると、近くにあると利用しやすいという意見があって、ほたる号という利用の仕方が、これから高齢者とかが身近で充実したところで利用できるならば、もうちょっと移動図書館に光を当てて蔵書を増やすとか、これ以上場所を増やすのは難しいと思いますが、そうすると利用者をもっと利用しやすくなるのではと思った。

(委員) ほたる号のステーションですが、公民館とか駐車場とかいろいろあるが、小学校ももちろんいいが、特に公民館というのは大体地区の中心部分にあって、公民館を利用するお年寄りの方もいるし、子どもたちも行事などで来るので、ステーションとして、各連区の公民館を入れるというのはどうか。増やすということになるので、難しいかもしれないが。

(委員) この前、小中高で愛知県の不読率というのが出ていた。本が好きな子はどんな理由かということ、生活が豊かになるとか、そういった理由がトップ。それがどうやって根づいているかということ、いい本との出会いがあったり、本に対していいイメージがあるということ。それを考えると、今回のアンケート資料の中に、いわゆる職員の対応というところが多く含まれているが、それらもセットで本に親しむ、そういう人材を作っていると考えられるので、今、学校のほうでは、図書館の雰囲気、子どもが本を選ぶという行為もイメージ作りにとっても大事だし、ペア読書で高学年と低学年の子と一緒に読書するとか、そういう何か楽しそうな雰囲気の中で本と出会っていくという、そのイメージが大事だということを考えると、職員の対応というのは、今、高い位置でキープしているとデータで出ているので、ぜひこれから先も維持して、学校のほうも同じなので、足並みそろえてやっていけるととてもうれしく思う。

(委員) 私は図書館で、読み聞かせをしている。この資料の中で、読み聞かせ会に参加しているというグラフがあるが、前年比だけでは分かりにくい部分がある。例えば、私の実感だと、コロナの前は割と会場に入り切らないぐらいのお子さんが参加していたときもあったが、コロナを経て、何組までという規制が外れても、なかなか子どもたちが戻ってきてくれないという現状がある。広報におはなし会の案内は変わらず載せてくださっており、おはなし会の在り方は変わってないのに、子どもたちが、おはなし会に集まりにくくなっていることについて、何か感じるものがあればお聞きしたい。

(委員) 私は尾西図書館でおはなし会をやっているが、同じように感じる。毎週土日に30分やっているが、10人以上来てくれたら、今日は多かったとメンバーと話している。今はスマホとか、本以外の楽しいものが増えてしまったからではないか。

(議長) 昔と今では生活環境が変わってきている。本来子どもは絵本が大好きだと思う。

保育園や幼稚園だったら、読み聞かせの時間が大好きで、そういう時間を過ごして学校に上がってくるが、学校に上がると環境が変わり、家庭の環境の問題、親自身も今は全然時間のゆとりがない。時間にゆとりがあれば、絵本に目が行ったりすると思うが。だけど本来、子どもは絵本が好きだと信じている。

(委員) 小さいうちから、親と子どものコミュニケーションとして絵本は最適なので、一旦絵本から離れたとしても、その受け取った愛情というのは、大人になって、図書館や本屋に行って絵本を見た途端、何か昔、愛情をかけてもらったとスイッチが入るので、とてもそういうことは重要だと思う。

(委員) 私は家庭教育のほうの子育てネットワークで、お母さんたちに絵本をご紹介するときに、絵本はお母さんの声でお母さんが一緒になって読むから子どもが楽しいと分かるから、膝の上に乗せて絵本を一緒にさわって楽しんでねというふうにお伝えしている。ただお母さんに余裕がないとそれができないし、そういってお伝えするお母さんも、やはり女性が働く時代なので、すぐに復帰される。なので、これは少子化もあるけどそれプラス、先ほど話が出た社会環境の変化によるものなんだろうと思う。

(議長) 議題(3)のその他について説明をお願いします。

(事務局) 尾西図書館、木曾川図書館、子ども文化広場図書館のLED化とLINE連携について説明。

2026年度の第1回の協議会については、9月を予定しており、また日程を調整の上連絡させていただきます。大変貴重な審議、ありがとうございました。以上をもちまして、本日の図書館協議会を閉じさせていただきます。